



岡つよし 県議会だより (加古郡)

発行
兵庫県議会議員 岡つよし事務所

〒675-1112
兵庫県加古郡稲美町六分一770-3
TEL:080-4398-6173
MAIL:info@oka-tsuyoshi.com

地域課題の解消へ 地道に着実に漸進を

木々の葉がようやく色づき、秋の深まりを感じるころとなりました。

本県では、物価上昇や今夏の記録的な高温・少雨への対策などをまとめた9月補正予算を編成し、執行しました。神戸市内で発生した痛ましい女性刺殺事件を受け、防犯カメラを集中的に整備する市町補助事業も組み入れています。

国では首相指名選挙で高市早苗氏が選ばれ、日本初の女性首相が誕生しました。「責任ある積極財政」のもと戦略的に財政を投下し、最優先課題として物価高対応や、強い経済の実現と成長をめざして地方に大規模な投資を呼び込む「地域未来戦略」の推進を掲げていますが、少数与党にある現状では野党との連携が不可欠です。10月に値上げされた飲食料品は3千品目を超えるなど物価高が家計を直撃する中、国民の暮らし目線に立って政策の適否を判断し、視座高く柔軟な協調性を持って道を切りひらく確固たる姿勢に期待しています。

暮らしや経済、地域を取り巻く課題は一朝一夕には解決できませんが、地道に着実に漸進し、方正謹厳を心がけて日々努力を積み重ねることが重要です。それが国や地方の立て直しにつながると信じ、引き続き活動に全力傾注していく決意です。

いなみ野ため池ミュージアムが明石高専と連携して開発したアプリ「ため池GO!」。ため池に設置された看板の二次元コードを読み取るとスタンプやガチャがゲットできます。アクセスは右の二次元コードから。コンプリートをめざして遊ぼう！



県立いなみ野特別支援学校の新校舎完成イメージ

令和9年9月 供用開始

県立いなみ野特別支援学校（稲美町国安1284番1）の校舎建て替えについて、9月の定例県議会で議決しました。事業費は約81億円です。10月から新校舎の整備がスタートし、令和9年9月に供用を開始する見通しです。

新校舎は小・中学部、高等部の約350人を受け入れる規模で、グラウンドや中庭を望む開放的な教室をはじめ、アートギャラリーや交流スペース（カフェ）などを設置。児童生徒が乗り降りしやすいように配慮した、ひさし付きのバスロータリーも整備します。



校内のいなみ野アートホール

いなみ野特別支援学校

新校舎整備を開始

物価高騰、高温・渇水対策など

9月補正予算で緊急対応

兵庫県議会はこのほど、子育て世帯の応援策や防犯カメラの集中整備などを盛り込んだ9月補正予算を可決しました。第372回定例会（9月18日～10月22日）で審議した緊急対策で、約61.4億円の予算を積み増した内容です。

県内の18歳以下の子どもがいる世帯を対象に「はばタンPay +（プラス）」第4弾の子育て応援枠を追加販売するほか、市町による防犯カメラ設置の補助件数を拡大して新たに250台分を上乗せ。高温・渇水に苦しむ農業者の支援をはじめ、災害避難所に指定されている県立学校7校の体育館や県立6施設の体育館に空調設備を整備するほか、国の公共事業の内示増などに対応する社会基盤の整備費も補っています。詳しくは下記の一覧と裏面をご参照ください。

【令和7年度9月補正予算の事業一覧】

1	県民生活の安全・安心の確保	22・8億円
(1) 物価高騰影響の緩和		
※「はばタンPay+」第4弾子育て応援枠の追加		
(2) 県民の安全・安心の基盤づくり		
※防犯カメラ集中整備の支援		
※県立学校避難所指定体育館への空調整備などの追加実施		
※その他の避難所指定県立施設体育館への空調整備の実施		
2	高温及び渇水への農業者支援	1・3億円
※農業水利施設の干ばつ対策支援		
※斑点米カメムシ類緊急防除支援		
3	大阪・関西万博後の誘客促進	1・0億円
※ひょうご五国周遊ツアーへの助成		
※首都圏対象の誘客キャンペーン		
※関西圏対象の誘客キャンペーン		
4	社会基盤の充実・強化	36・3億円
※災害に強い森づくり緊急対策		
※公共事業内示増への対応		

令和7年度9月補正予算 主な事業

すべての子育て世帯を応援！23万世帯分を追加販売！



急激な物価高騰で特に18歳以下の子どもを持つ子育て世帯は厳しい状況が続いていることから、県内すべての子育て世帯を対象に「はばタンPay + (プラス)」第4弾を追加で販売します。一口6250円分を5000円で購入できるプレミアム付きデジタル券で、1世帯あたり4口分まで提供して家計を応援します。9月の県補正予算に約23万世帯分となる15.4億円を充てました。

申し込みは11月17日までで、親子ともに本人確認書類のアップロードが必要です。利用開始は12月19日からで、従来のスマホアプリから県内のスーパーやコンビニなど約1万4千店舗で来年2月28日まで使うことができます。詳しくは公式サイトをご参照ください。



公式サイト



今夏の高温・ 農業者の干ばつ被害防止支援

用水確保費を補助 カメムシ対策も

今夏の高記録的な高温と少雨の影響を踏まえ、農業者の干ばつ被害防止対策を国、県、市町などで負担し合って支援します。水路や井戸、ポンプなどを設置・運転する経費を補助する国の制度を活用し、市町を通じて実施。ポンプ・可搬タンクの購入借り上げ料、給水車の委託・借り上げ料、番水など配水管理費などが補助対象です。事業期間は8月1日からで、梅雨明けの6月27日から7月31日に着手した経費は県が独自制度で市町と同率（上限2分の1）を補助しています。



また、コメの天敵と言われ、全国的な高温で大量発生しているカメムシ（斑点米カメムシ類）の対策として、集落単位による追加防除の経費を補助する緊急事業を実施します。県が推奨する回数以上の防除を行ったほ場が対象で、1集落または約20畝以上の面積への一斉防除が要件。防除用の農業費用、防除委託費などに10アールあたり1000円を補助します。



イネカメムシ



カメムシによる斑点米被害

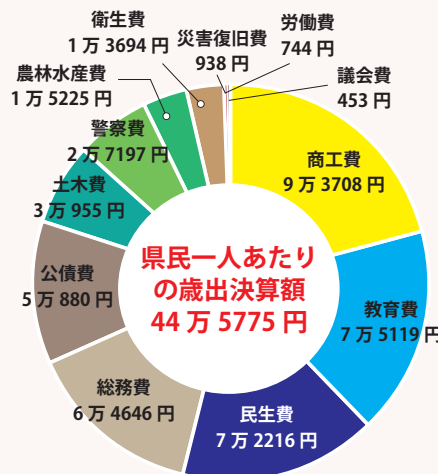
令和6年度決算 実質収支 58億円の黒字に

県税収入など過去最高更新

県議会は9月定例会で決算特別委員会を設置し、令和6年度県決算を審査し了承しました。

一般会計の歳入は2兆3822億円、歳出は2兆3684億円でいずれも前年度比で減少し、国庫への返納金などを除いた実質収支は58億2800万円の黒字で平成以降では2番目に高くなりました。

歳入では、株価上昇による個人県民税の増加や好調な企業実績で県税などの収入が9735億円となり、過去最高を4年連続で更新しました。借金にあたる県債は1356億円で前年度より82億円増加。破綻した分収造林事業の債務整理などで取り崩した県債管理基金を積み戻したことが背景にあります。歳出では、定年引き上げによる退職者の増加で人件費が前年度比340億円の増となり、後期高齢者の増加に伴って社会保障関係費も95億円増えました。なお、予期せぬ事態に備える財政基金の残高は県政改革などの結果、令和6年度末で145億円に伸び、大震災以降では最も高くなりました。



万博後の観光誘客を継続 五国バスツアーに助成

大阪・関西万博後も引き続き県内の観光地に誘客を図るため、ひょうご五国を周遊する宿泊付きのバスツアーを助成する制度を新設しました。冬の観光需要を見据え、10人以上の大型バスで県内の観光地や本県で展開しているフィールドパビリオンを2カ所以上立ち寄る宿泊ツアーが対象。1台あたり4万円を補助します（条件で加算あり）。



また、首都圏からの誘客にねらいを定めたツアーの造成やプロモーションを実施。ICTを活用し、利用者のニーズに合わせて観光地や移動手段などを提案する観光型MaaSによる周遊デジタルパスの開発・販売も展開します。

岡つよし県会議員のフォト・レポート



大中遺跡まつりに参加。雨天で一部行事が中止されましたが、多くの来場者を迎えて盛り上がりました。皆さんお疲れさまでした。新聞の父・ジョセフ・ヒコ(?)とも遭遇 (10/4)



はりまシーサイドマーケットで加古川青年会議所の理事長と (9/27)

岡つよしにご意見・ご要望を！

岡つよし事務所
〒675-1112
兵庫県加古郡稲美町六分一 770-3
☎ 080-4398-6173
E-mail: info@oka-tsuyoshi.com